

# 柘植地域の農業、どうする？ 倉部の集落営農に学ぶ



いざとなれば、自分の農地を  
営農組合が預かってくれるという安心感



また保有する農業機械や施設見学、質疑応答を行い、最後は各区の状況を出しながら、柘植地域全体の農業の将来について考えることで、問題の共有を図ることができました。

任意の農事組合から、平成24年に法人化され現在にいたる倉部営農組合…。8月24日(月)午前、倉部営農組合の農作業所にて、今日に至ったプロセス、現状の収支や運営のありようについて、役員の皆さんから説明を受けました。

どのようにして法人を立ち上げ、動かしてきたのか？

産業交流部会では、いま柘植地域で考えていかなければならない分野内テーマを定め、農業や鳥獣害被害、観光などの研修を進めています。

**個人でやるにはもっ限界、、、集団でやらなければ、、、  
やっていけないことはわかっているが。。**

## 倉部の営農組合が 地域で果たしている役割

- ・区内に耕作放棄田を出さない。
- ・区民の連帯感や営農への関心を向上。
- ・自然環境の保全につながっている。
- ・「くらぶの里米」による地産地消に貢献。そして、いざというときの安心感。



晩秋には改めて農業研修会を開く予定です。



# 柘植地域 まちづくりだより 第260号

**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)  
〒五一九一四〇二  
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

**発行日** 二〇二〇(令和二)年九月一日(火)

柘植地域俳句コーナー  
秋の道  
ただ一軒の  
茶店かな  
澤井智子

# サルやイノシシ、シカにアライグマ 有害鳥獣対策研修会を開催



7月29日(水)午後、「柘植地域の獣害状況」を共有し、課題を明確にしアクションにつながるための会議を開催しました。

これは毎年、伊賀市や三重県の協力を得て、開催している会議です。

今後、被害の多い地域を重点地域に定め、追払いのチーム編成や実験圃場づくりなどを行うことを確認しました。

また、今年度は、市の支援を受け、柘植地域で2名の「狩猟免許取得」が進められました。捕獲については、安全第一で法律に基づいて対策をとっていききたいと思っています。

また、情報共有ツールである「サルどこネット」登録者の募集もしております。  
※詳しくは産業交流部会まで。



# 私達の地域の宝を 将来に残し伝えていくために

観光について

視察研修会を開催しました

残念ながら柘植公民館(柘植歴史民俗資料館)が3月末に閉館…。将来、柘植地域にある文化遺産への関心が低下してしまうのではないかと心配です。

産業交流部会では昨年度、柘植地域の史跡や名所を見学したり、お隣の名張市郷土資料館を視察したりしました。

今年度は近隣市の**亀山市歴史博物館**や**甲賀市立土山歴史民俗資料館**等を中心に視察見学しました。



7月23日(木)午前、亀山市歴史博物館を訪問。常設の亀山の歴史資料や特別展「鉄道の歴史」の展示を見学。その後は、道の駅関宿やJR加太駅付近を視察しました。

また8月16日(日)午後には、甲賀市土山歴史民俗資料館や斎王頓宮跡ならびに旧東海道松並木を視察。地域おこしとしてマラソン大会開催などの様子もわかりました。

江戸期の日本の動脈を担った2市を視察し、文化継承施設の充実ぶりに感心しました。

# 柘植地域パトロール

II 公安活動展開中 II



☆写真は7月7日のパトロール出発前の写真です。

生活環境部会と2区連絡協議会では、地域の公安活動として、毎月一度、伊賀警察(柘植駐在所)と協力して柘植地域のパトロールを実施しています。交通安全はもとより、不法投棄防止や生活環境の悪化調査をしています。

## ☆☆☆ 事務局だより ☆☆☆

▼コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、これまで大切にしてきた地域の多くの取組が中止になっていきます。今号では感染症予防対策をできる限りしたうえで開催した産業交流部会主催の研修会を紹介しました。▼「Zoom」など最先端のITノウハウがあれば、もっとできることもあるかもわかりませんが、いまのところ、これまでの延長線上のやり方で参加者の事前予約と参加者数の限定、また一人ひとりに「健康チェックシート」の記入や予防のためのルールを守っていただいている取組となっています。▼柘植地域の課題には、産業・就業・環境保全、地域コミュニティづくりなどに直結している「農業問題」にあるのは明白です。▼今回紹介した取組を参考に、他分野の様々な課題についても、区内ではもちろん区を越えて考える場を設定し、参加者間の交流を深め、課題解決につなげていくことが重要だと思います。そのようなシステムづくりと運用が、まちづくり協議会の役割としてあるはずだと考えています。(西田方計)

